
視点@扇風機

二号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

視点@扇風機

【Nコード】

N6849A

【作者名】

二号

【あらすじ】

夏必須アイテム「扇風機」視点のお話です。あくまで想像です。

俺は扇風機だ。

一言で言ってしまったがそれ以外に説明のしようがないじゃないか。
今日も暑いな……………ん？扇風機なのに暑い感覚があるのかつて…

……………？

ないぜ？

暑さを感じる扇風機があつたら是非ともお目にかかりたいものだ。

さて、くだらない自己紹介はこのくらいにしてさっさと中身に移ろうじゃないか。

俺は夏になると人間様を涼しくするために働く、とーっても偉い機械なんだ。

でもな、毎回単調に羽根回してやってるんだが、そんな俺にだって不満つてもんは山ほどあるんだぜ。

今回は特別に少しだけ教えてやるよ。

「ただいまーっ」

おっと、早速人間様のお帰りだ。

どうやらこの家の娘らしい。まだ歳はそんなにいつてないな。

「あーっーいー！まー、クーラーつけてー！」

「だめよ！子供は扇風機で我慢しなさい！」

おいおい、

「子供は」ってことはアンタはクーラーで涼むってか。

「うー、扇風機じゃ涼しくならないよー……」

言ってくれるなお前。

ちよっ、足でスイッチ入れるなつての！チビなんだから手で届くだろっが！

ブーーン

「はぁー、気持ちいいー」

今は首振り機能が同時進行中だ。その子供は俺の動きにそって一緒に動く。

しばらく動いていたが、動き疲れたのか何なのか、コイツは、

「首振りするなー!」

と俺の首の動きを止め始めやがった!

ガガツガガツガガツ……

おい! く、首がっ……………や、やめっ……………離してくれえ!

もちろんコイツには聞こえるわけないのよ。
そんなこんなで、俺の首はしばらくの間、悲痛の音色を奏でていた。

太陽も沈み始める時間帯、それぞれ気温も下がってきただろうか。

あのさあ…………俺ら扇風機って普通床に真っ直ぐ立てて使うんじゃないのか？

何で俺は今、子供と一緒にしかも横向きでオネンネしてるんだろうか。

（一緒にねよう）

ああ、さっきこんなこと言ってたな…………

ちくしょう！かわいいじゃねえか！

だが、立てておいてくれ。

首が折れそうなんだ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6849a/>

視点@扇風機

2011年1月16日03時36分発行